

3 博物館実習

大学及び短期大学における博物館学講座の単位習得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として実施している。開設日時とカリキュラム、および受入先は次のとおり。

開設日時と内容

8月17日（金）	9：30～10：15	開講あいさつ・オリエンテーション
	10：15～11：30	講座①「美術館と学芸活動」
	11：30～12：00	ギャラリートーク実習①（概論）
	13：00～14：00	講座②「美術館の展示環境・展示手法」
	14：00～15：00	展覧会見学①「所蔵作品展」
8月18日（土）	15：00～16：00	展覧会見学②「ジブリの大博覧会」
	9：30～12：00	作品取扱い実習・調書作成①（西洋美術）
	13：00～15：00	作品取扱い実習・調書作成②（日本美術）
	15：00～16：00	展覧会取材（館内取材）
8月20日（月）	9：30～12：00	展覧会を紹介する（短評作成・相互批評）
	13：00～14：00	ギャラリートーク実習②（企画－立案）
	14：00～15：00	ギャラリートーク実習③（実地見学）
	15：00～16：00	ギャラリートーク実習④（企画－立案）
8月21日（火）	9：30～12：00	ギャラリートーク実習⑤（企画－集約）
	13：00～16：00	ギャラリートーク実習⑥（企画－制作）
8月22日（水）	9：30～12：00	ギャラリートーク実習⑦（企画－発表準備）
	13：00～15：00	ギャラリートーク実習⑧（発表）
	15：00～16：00	受講生ディスカッション

受講生所属大学

神戸女子大学、立命館大学、金沢美術工芸大学、武蔵野美術大学、東京工芸大学、比治山大学、安田女子大学、山口大学、尾道市立大学、県立広島大学、広島大学、高知大学、広島市立大学、広島女学院大学（申込順、計22名）

ミニ企画展実習

メインカリキュラムの「ギャラリートーク実習」では、所蔵作品展で展示中の作品の中から対象作品を選定し、模擬的なギャラリートークを実施した。受講生は4班に分かれ、グループワークにより、各班で対象者、作品、対象者に合わせたトーク内容、ギャラリートーク全体のテーマを決定。作品を繰り返しよく見ることで発見した見方や感じ方を掘り下げること、作品への理解を深め、鑑賞の楽しみが広がることを体験するとともに、来館者の目線に立ったトーク内容の検討と発表により、学芸業務を追体験することを目的とした。各班のテーマ、対象者、作品は次の通り。

①	美術の中の生き物—不思議な冒険—(対象：初めて所蔵作品展に来られた子ども連れの家族) 鈴木治《鳥のプロペラ》、サルバドール・ダリ《ヴィーナスの夢》、角浩《平和のメリーゴーランド》、宇根元警《花のある季節》、児玉希望《河童》、橋本雅邦《竜虎争気》、和高節二《仔牛誕生》《ひなた》、伊万里柿右衛門様式色絵馬、トルクメン人《首胸飾り(ブカウ)》
②	シュルレアリスムが表現する「不安と希望」(対象：高大生、大人) 川上力三《廃景》、サルバドール・ダリ《ヴィーナスの夢》、ルネ・マグリット《人間嫌いたち》、鬚光《二重像》、古沢岩美《死の誕生》、角浩《平和のメリーゴーランド》
③	変なオブジェ(対象：学校教育の一環として美術館を訪れた高校生) マックス・エルンスト《オイディプスⅠ、Ⅱ》、川上力三《廃景》、八木一夫《いつも離陸の角度で》、笹山忠保《魔法のじゅうたん》
④	自然の世界へ出かけよう(対象：小・中学生) マックス・エルンスト《博物誌》

（本研修担当者：藤崎 綾）